

様式第1号（第6条、第9条関係）

令和7年4月28日

境港貿易振興会会長 様

申請者 所在地 〒684-0046 鳥取県境港市竹内団地 255-3

名称 株式会社境港貿易

代表者役職・氏名 代表取締役社長 境港 太郎

（担当者） 境港 二郎

所属氏名 営業部 営業課

電話 0859-××-□□□□

メールアドレス sakaiminatoboeki@sakai.co.jp

印

代表者印
(丸印)

令和7年度 境港環境負荷低減トライアル輸送支援事業費補助金交付申請書 (実績報告書)

境港環境負荷低減トライアル輸送支援事業費補助金の交付を受けたいので、境港環境負荷低減トライアル輸送支援助成事業実施要綱第6条（第9条）の規定に基づき、関係書類を添えて申請（報告）します。

令和7年4月28日

境港貿易振興会会長 様

申請者 所在地 〒684-0046 鳥取県境港市竹内団地 255-3
名称 株式会社境港貿易
代表者役職・氏名 代表取締役社長 境港 太郎

境港環境負荷低減トライアル輸送支援事業実施（ 計画・ 報告・ 変更）書

1 事業実施期間

令和7年5月1日から令和7年12月31日まで

注：事業実施期間は、令和8年3月末日までとする。

2 対象区分（該当する項目に✓を付けてください。）

境港を利用したことのない荷主

昨年度内に境港利用実績がない貨物を取り扱う既存荷主

3 トライアル輸送における取扱貨物の概要

（複数ルートの場合は、ルート毎に以下の内容について作成をお願いします。）

品目		冷凍魚
年間貨物量		約 30 <input checked="" type="checkbox"/> TEU <input type="checkbox"/> t
輸送毎の貨物量		4 <input checked="" type="checkbox"/> TEU ・ <input type="checkbox"/> t (<input type="checkbox"/> 20ft ・ <input checked="" type="checkbox"/> 40ft コンテナ 2 本)
既存	貨物出発地	境港市
	貨物到着地	ハノイ (ベトナム)
	リードタイム	8～10日
	輸送方法 (利用航路、利用港等)	境港 (陸送) → 神戸港 (海上輸送) → ハイフォン港 (陸送) → ハノイ
計画	貨物出発地	境港市
	貨物到着地	ハノイ (ベトナム)
	リードタイム	8～14日
	輸送方法 (利用航路、利用港等)	境港 (海上輸送) → 釜山港 (海上輸送) → ハイフォン港 (陸送) → ハノイ
	トライアル輸送実施予定回数	3 回
	トライアル輸送全体の貨物量	約 6 <input checked="" type="checkbox"/> TEU <input type="checkbox"/> t
	輸送毎の貨物量	2 <input checked="" type="checkbox"/> TEU ・ <input type="checkbox"/> t (<input type="checkbox"/> 20ft ・ <input checked="" type="checkbox"/> 40ft コンテナ 1 本)

4 事業実施の目的・背景

※従来ルートでの課題、事業実施に至った具体的な経緯を踏まえて、事業目的と背景を記入してください。
現状では神戸港を利用しており、輸出時における日本国内の輸送コストが課題となっている。
また、今後は物流 2024 年問題を契機とするトラック運賃の値上げも見込まれており、輸出港を境港に変更することにより、国内輸送コストを削減し、物流コスト全体のスリム化を図りたいと考えたため。

5 事業内容及び期待される成果等

【具体的な取組内容】

○輸出港の変更
神戸港→境港

【スケジュール】

○第1回 境港からの輸出（令和7年5月）、ハノイ着（令和7年6月）
○第2回 境港からの輸出（令和7年8月）、ハノイ着（令和7年9月）
○第3回 境港からの輸出（令和7年10月）、ハノイ着（令和7年11月）

【実施体制】

○フォワーダー（日本側）：○○○○
○フォワーダー（ベトナム側）：○○○○

【期待される効果】

○国内輸送コストの削減
○トラック輸送短縮に伴う CO₂削減

6 他の補助金等の活用の有無 有 ・ 無

- ・他の補助金等の活用（予定を含む）の有無について、「有」、「無」のいずれかにチェックを入れてください。
- ・「有」の場合は、表内に活用する補助金名やその事業内容、当該補助金等に係る問合せ先（補助金等を所管している部署名や団体名及び連絡先）を記入してください。

※以下の事項は、実績報告書作成時に記載してください。

7 境港継続利用の実現性

※試験輸送結果を踏まえて、境港の有用性、継続利用の実現性、又は継続利用に向けた提案等をご記入ください。

令和7年4月28日

境港貿易振興会会長 様

申請者 所在地 〒684-0046 鳥取県境港市竹内団地 255-3
 名称 株式会社境港貿易
 代表者役職・氏名 代表取締役社長 境港 太郎

境港環境負荷低減トライアル輸送支援事業収支（ 予算 ・ 決算 ・ 変更）書

1 収入の部 (単位：千円)

	金額	資金の調達先
自己資金	400	
借入金	0	
補助金（C）	400	境港環境負荷低減トライアル輸送支援事業費補助金
その他	0	
補助事業総額（A）	800	

2 支出の部 (単位：千円)

補助対象経費	主な内容	事業に要する（した）経費	左記の経費のうち補助対象経費	備考
OCEAN FREIGHT	海上運賃			
CIC	サーチャージ			
DO FEE	D/O 発行手数料			
DOC	B/L 発行手数料			
THC	Terminal Handling Charge			
輸入通関料	2 欄まで			
輸入取扱料	1 件あたり			
ドレージ配送料	20F			
合計		(A) 800	(B) 800	

見積書の額を元にご記入ください

※主な内容欄には、積算を明記すること。

※金額は、全て消費税額等の税額を除いた額で、千円未満を切り捨て千円単位で記載すること。

※収入の部の「補助事業総額（A）」と支出の部「左記の経費のうち補助対象経費（B）」の合計額は同額とすること。

3 補助金申請金額

補助金交付申請額（C）	400千円
-------------	-------


(B) × 補助率又は補助金上限額

令和7年4月28日

境港貿易振興会会長 様

申請者 所在地 〒684-0046 鳥取県境港市竹内団地 255-3
名 称 株式会社境港貿易
代表者役職・氏名 代表取締役社長 境港 太郎

境港環境負荷低減トライアル輸送支援事業スケジュール表

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
トライアル輸送実施										
実績報告書提出										

※実施項目ごとに、予定を⇔等で記入してください。